設定に関するクイック リファレンス

コマンド一覧や、Cisco UCS E シリーズ サーバ（E シリーズ サーバ）の簡単なセットアップ手順や使用手順だけを必要とする場合は、この設定に関するクイック リファレンスの章を参照してください。 個々の設定手順に関する詳細については、以降の章で説明します。

（注） オペレーティング システムまたはハイパーバイザが事前にインストールされていないオプション 1 - E シリーズ サーバを購入した場合、この設定に関するクイック リファレンスの章を参照してください。 オプション 2（Microsoft Windows Server が事前にインストールされている E シリーズ サーバ）またはオプション 3（VMware vSphere Hypervisor™ が事前にインストールされている E シリーズ サーバ）を購入した場合、設定手順が一部異なります。

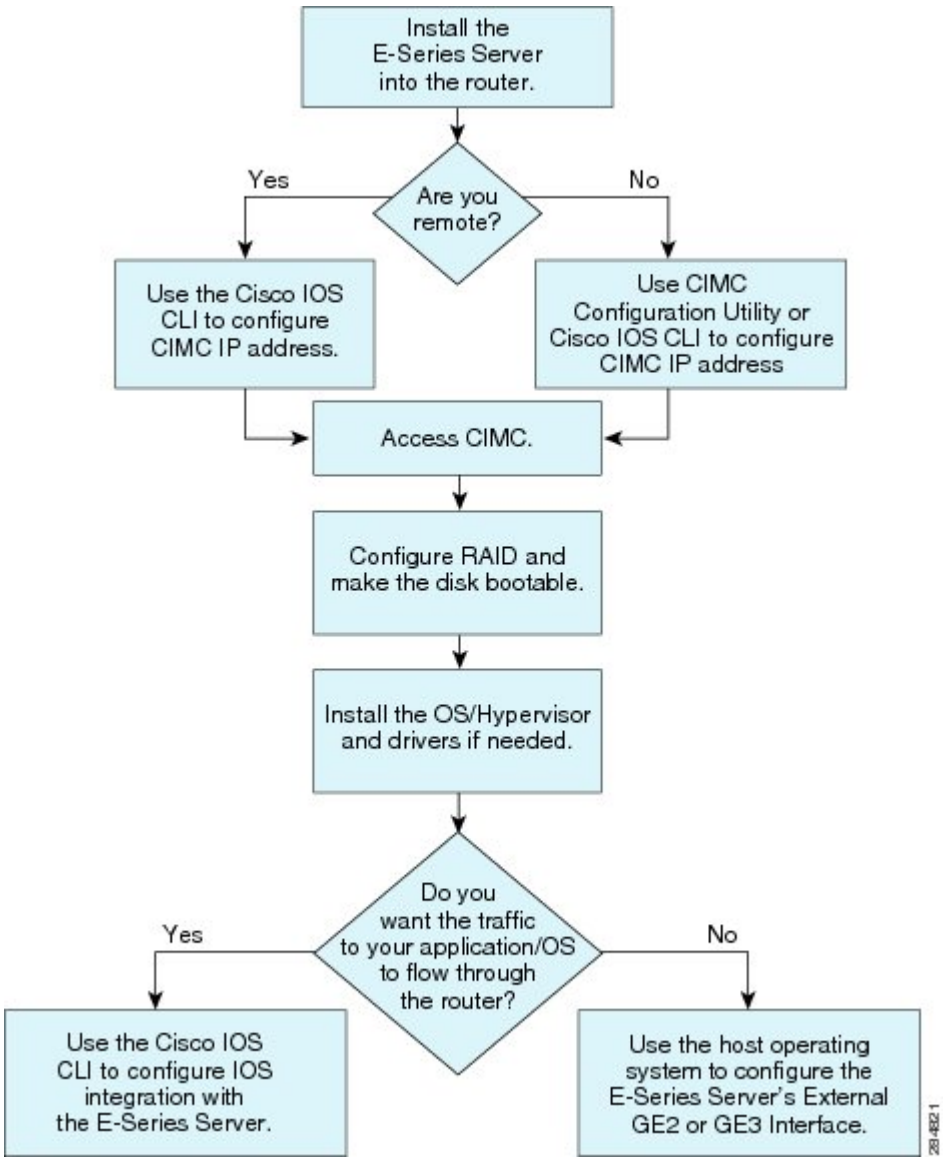
この章は、次の項で構成されています。

- 設定に関するクイック リファレンス タスク，2 ページ

設定に関するクイック リファレンス タスク

次の図は、オペレーティング システムまたはハイパーバイザが事前にインストールされていないオプション 1 - E シリーズ サーバの基本的なワークフローを示しています。

図 *1* : **基本的なワークフロー - オプション *1***



手順

ステップ 1 E シリーズ サーバをルータにインストールします。

ステップ 2 CIMC アクセス用の CIMC IP アドレスを設定します。 次のいずれかの方法を使用します。

- リモート ユーザの場合、Cisco IOS CLI を使用して CIMC アクセスを設定します。 次のコマンドを入力します。

  （注） この設定は、E シリーズ サーバの内部 GE0 インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定する方法を示しています。 詳細については、E シリーズ サーバの内部 GE0 インターフェイスと Cisco ISR 4451-X ucse slot/0/0 インターフェイスによる CIMC アクセスの設定を参照してください。

  （注） 別のインターフェイスを使用するには、CIMC アクセスの設定を参照してください。

  - **enable**
  - **configure terminal**
  - **interface ucse** *slot*/**0/0**
  - **imc ip address** *cimc-ip-address subnet-mask* **default-gateway** *cimc-gateway-ip-address*
  - **imc access-port ge0**
  - **no shut**
  - **end**

- ローカル ユーザの場合、次のいずれかの方法を使用します。
  - キーボードとモニタを E シリーズ サーバの前面パネルに接続し、CIMC Configuration Utility を使用して CIMC アクセスを設定します。 CIMC 設定ユーティリティによる CIMC アクセスの設定を参照してください。
  - Cisco IOS CLI を使用して CIMC アクセスを設定します（前述したリモート ユーザの設定を参照してください）。

ステップ 3 Web ブラウザで、CIMC にアクセスするためにステップ 2 で設定した IP アドレスを入力します。

ステップ 4 RAID を設定し、ディスク ドライブをブート可能にします。 RAID の管理を参照してください。

ステップ 5 オペレーティング システムまたはハイパーバイザをインストールし、必要に応じてドライバをインストールします。 オペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストールを参照してください。

ステップ 6 次のどちらかを実行します。

- アプリケーションまたはオペレーティング システムに対するトラフィックをルータ経由にしない場合、サーバのホスト オペレーティング システムを使用して E シリーズ サーバの外部 GE2 または GE3 インターフェイスを設定します。

- アプリケーションまたはオペレーティングシステムに対するトラフィックをルータ経由にする場合、Cisco IOS CLI を使用して、ルータと E シリーズ サーバ間の内部接続を設定します。ルータと E シリーズ サーバ間の接続の設定を参照してください。